

一人ひとりの自己管理が最重要! たゆまぬ努力と己の力で叶える夢 競輪選手



競輪選手は一人ひとりが社長のようなもの。自身の体づくりからレースのスケジュール、自転車の整備まですべて自分一人でおこないます。レース中の3分間はぶつかり合ったり、転倒したりという怪我の危険とも紙一重。選手は毎日、そういった過酷なレースに耐えられる強靱な体づくりをするため、計画的に様々なトレーニングをしています。トレーニングを耐え抜いてレースに勝利した時にはとてもやりがいを感じます。



Check!

このお仕事についたきっかけ

子供の頃から体を動かすことが大好きでした。自転車で賞金がもらえる競輪選手という職業があることを知り、自転車部のある高校に進学しました。高校卒業後は、日本競輪選手養成所に入所し、競輪選手になりました。



競輪選手ってどんなお仕事をしているの?

● 毎日の体づくり



競輪選手にとって自分の体は商売道具。レースに合わせ、計画的にトレーニングの方法を考えています。パーソナルトレーナーに指示を仰ぐこともあります。

● 自転車の整備



レースをとにする自転車は、自分の足のような存在。レース中にねじやチェーンがゆるむことがないように、毎日の整備や点検は欠かせません。

● レースへの参戦



選手にとってトレーニングを重ねてきた集大成の約3分間。短い時間のなかで、かけひきやぶつかり合いをしながら、勝利を掴むため奮闘します。

● 後輩への指導



毎年、多くの選手がプロになります。養成所では教えてくれない、実践でしかわからない内容をアドバイスするのも先輩選手としての大事な仕事です。

Check!

こんな人たちと働いています!

- 事務員
- 広報

公正なレースを念頭に闘志みなぎる熱戦をみなさんに提供します 一般社団法人 日本競輪選手会大分支部

別府市亀川東町1-13 ☎0977-66-2778
創業/1951年4月 従業員数/39名 (総人数39名、男性34名、女性5名)



一般社団法人 日本競輪選手会大分支部はこんな仕事をしています



● 選手のレース出場のためのサポート

県内で登録されている選手が怪我をした時は、選手の身の回りのサポートをしています。多くの選手がプロとして入ってくるため、とても大変な仕事です。



● 大分支部での意思決定

今後おこなっていくイベントなどを考えて決めるのも支部の仕事です。同僚との会話の中から良いアイデアがひらめくこともあります。



● 次世代の選手の育成

選手たちを育てるために、レースの管理はもちろんのこと、時にはコミュニケーションをとり、選手一人ひとりのメンタルケアもおこないます。



● 社会貢献のための取り組み

毎年クリスマスになると、選手たちはサンタクロース姿で児童福祉施設へ訪問。寄付金とお菓子の詰め合わせを子供たちへプレゼントしています。



未来を担う子供たちの笑顔に貢献しています



別府競輪の選手たちと別府市が協力し、児童養護施設に自転車を寄贈したり、県内の子供たちに安全に自転車に乗ってもらうため、自転車教室を開いたりしています。未来を担う子供たちの笑顔を増やすため、選手たちは日々がんばっています。

